

軽電機製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者規 模
2017	1	16~17	重さ10kgのエンボステープが大量に入り倉庫に片付けようとパレットに乗せて、いっぱいになったので板台車に乗せて運ぼうと、エンボステープを持って後に下がった時に足元にあったリフターに左足が引っ掛かり、左膝が一瞬外れたように内側に曲がり、後ろに転倒し、膝部分が腫れて動けなくなった。	51	362	3	100 ~ 299
2017	1	21~22	二次分割機から異音がしたために、装置を停止させずに確認しようとしたところ、稼動中の二次分割機のベルトと駆動プーリーの間に左手中指を挟んだ。慌てて同指を引き抜いたところ、同指の爪が剥がれた。	59	169	7	50~ 99
2017	1	9~10	プレス工場ドリル加工作業をしている時、ドリル機を停止せずにワークを取り換え時、作業者が軍手を装着しており、右手甲部分にドリルの刃が接触した際に巻き込まれ、とっさに左手で電源をOFFにした。	39	152	7	10~ 29
2017	2	8~9	出勤時に工場到着後車から降りて工場へ向かう途中で滑って転倒した。転倒場所は負傷者本人が駐車した右後ろ部分、当時直径1m位の広さが凍結していた。（雪解け氷が凍結した状態）	59	719	2	10~ 29
2017	2	16~17	組配工場内シリンダーの動機調整を行う作業中、右手でエア注入のレバー操作・左手で製品を押さえていた際、本来縦向きに製品をセットするところを横向きに置き作業を行ってしまい、左手が製品のくぼみに掛かりシリンダーに挟まれ、負傷した。	49	391	7	100 ~ 299

2017	2	13~14	ドローンを利用したサル追払支援ロボットの開発プロジェクトで使用するドローンが、プロポを操作しても動かないと言われ、症状を確認する為電源を入れて操作したところドローンが動き出しそれを手で押さえて止めようとしてドローンのプロペラで両手の甲や指に傷を負った。	21	391	7	50~ 99
2017	3	15~16	プラスチック製の建築資材（ドアレール枠、160cm×3.5cm×15mm）の端を回転している丸鋸（直径約30cm）を使用して削る作業中に、用意されている保護具をつけ忘れたため、削られた製品の一部分が左眼の瞼に飛び、裂傷を負った。	61	169	6	1~9
2017	3	10~11	エレメント班作業場1階でローリングミルのメンテナンス中、回転体を作動させた状態で研磨作業をしている時に、手袋が巻き込まれ指が挟まり負傷した。	40	159	7	—
2017	5	18~19	工場内で自動旋盤を使って真鍮製品の継手を製作するための段取り作業中、機械を停止しないまま油のホースを調整していた時、モーターがバーが下りてきて、カバーとドリル用刃物台に右手中指を挟まれ、第3指末節を負傷した。	51	151	7	30~ 49
2017	5	8~9	作業場へ向かうため、他の作業員と廊下を歩いていたら、置いてあったフォークリフトパレット（横110cm×縦110cm×高さ15cm）に気付かず、足をぶつけ転倒してしまった。身体を支えようと咄嗟に右手を出したが、床に強く打ちつけ負傷した。	45	417	2	100 ~ 299
2017	6	18~19	工場建物内作業場において、2本ロール機を使用して平板状の電気ヒーター（電熱線の発熱体を絶縁マイカで挟みステンレス板で外装に円加工を行う際、ヒーターを持ち、ロール機にセットして起動させたところ、手を外すタイミングを誤り、ヒーターとロール機の芯棒の間に右手人差し指を挟み、第一関節より先を負傷した。	48	163	7	30~ 49
			当社工場内において、トラックで搬入された業務用冷蔵庫の材料（鉄板39.2cm×88.8cm×158.8cm、重さ278kg）をクレーンで荷降し作業中、トラック荷台で6段に重ねられていた材料の上2段が荷崩れ				

2017	6	14~ 15	していたため、荷降し前に荷崩れを直そうとクレーンで材料を吊り上げ、クレーンからトラックの荷台に移動し、材料を水平にした後、荷台から降りようとした時、水平にした材料が揺れ、被災者の背中に当たる。その際、トラックのあおりに足を当てた後、落下して背中・左手を打ち、首・胸・左手首・足を負傷したものである。	50	521	1	100 ~ 299
2017	6	10~ 11	製品の入った通い箱を2段ずつ重ねて運ぶ作業中に、台車より箱を持ち上げた際に、下段の下部に3段目の箱が固着している事に気づかずに運搬し、作業台の上に置こうとした時に、固着していた3段目の箱が天板と接触し、両手で持ち上げていた上部2段の箱が体に衝突した。	54	611	3	50~ 99
2017	6	15~ 16	プレス機が連続自動運転中、油吸着マットを交換するために踏み台に上ろうとした時、アジャスターが外れて踏み台が傾き、体勢が崩れてしまい、可動ヒッチとエンドブロックの間に左手人差指を挟んでしまった。（本来、油吸着マットは運転中に交換しない。）	49	159	7	50~ 99
2017	7	9~10	南棟のダミー基板置き場において、廃棄物業者への排出準備とし、山積みになっていたダミー基板を減らすため、コンテナとフォークリフトの荷台にまたぎ、ダミー基板を入れたケースをフォークリフト側に移す際に足を滑らせ、高さ約1.2mから転倒、コンテナの角に背中と腰を強打し肋骨と腰椎を骨折。	53	222	1	500 ~ 999
2017	7	23~24	出張宿泊先ホテル自室で就寝中に、寝返りをした時に、ベッドから床に転落し、ホテルの備え付け椅子の脚に転落した勢いで右眼を強打し、右眼眼球を保護・構成する軟骨を損傷した。＜補足内容＞朝起きた時には痛み及び腫れが無かったが帰阪途中から痛み・腫れがひどくなった。	49	391	1	500 ~ 999
2017	7	11~ 12	2tトラックで納品に行き、駐車場で車を止めてエンジンを切り、助手席の荷物を取ろうとしたとき、相手が車をバックしてきて衝突したため負傷した。	50	231	6	10~ 29

2017	7	13~ 14	工場の西側食堂から作業場につながる通路にて、食事休憩終了後、通路を歩行中に本人の不注意により、タイムカード設置台（鉄製70×30×30cm）の角に右太もも外側を打撲した。	36	379	3	50~ 99
2017	7	16~ 17	工場内の中2階の倉庫から製品梱包用の箱を運び出す際に、階段近くでバランスを崩し、階段へ倒れ、そのまま転落し、頭部と胸部を打撲した。	65	413	1	50~ 99
2017	7	8~9	金型工場内において、金型を台車にのせて移動中、台車を手前に引きながら緩やかなスロープを下っていたとき、スロープの終わりに床のつなぎ目があり、亀裂や凹みがあったため車輪がはまった。はまった車輪を外そうとし、持ち手を引っ張った際、台車の前面が浮き上がり、バランスを崩して転倒した。その際に金型が落下し、右足の甲より先を負傷した。	64	362	2	100 ~ 299
2017	7	15~ 16	敷地内製品倉庫の左側シャッターの前で、製品をトラックに積み込む作業をしていた。後ずさりしたとき、後方にあったハンドリフトの金属部分に足をとられ、後ろ向きに倒れて地面に左手をついて手首を負傷した。	52	362	2	50~ 99
2017	9	17~ 18	業務終了後、靴を履き替えている時に人に押され、左足小指を靴箱の角にぶつけたものである。	45	391	3	100 ~ 299
2017	9	10~ 11	携帯電話の試験工程での作業に従事、当該工程では2~3日に1回程度の頻度で作業を行っていた、作業者の身長は180cmで作業台は高さ約80cm、試験設備は立ち位置より30cm程度奥にあるため、試験設備に携帯電話を出し入れする際に、少し前屈みの状態となり、腰痛が発生。発生当日、本人よりサブリーダーに対し、当該工程での作業は腰に負担がかかるため、別の工程での作業を申し入れたが、不良発生原因が人の作業によるものか検証するため、本人了承のもと、午前中だけ当該工程で作業を行っていた際に腰痛発生となる。	37	418	19	100 ~ 299

2017	9	15～ 16	敷地内の倉庫からロール状の養生シート（幅180cm、重さ20kg）を工場内に持ち込む際、養生シートを中腰で持ち上げようとしたところ腰に痛みが走った。	28	921	19	1～9
2017	10	13～ 14	スマートメータ組立#3ラインの第1工程において、回送されてきたパレットに部品（名称:ベース約180g）を持ちセットする際にベースと部品の間に入差し指先端を挟み込み受傷した。受傷当日は軽傷だと判断したが、翌日になり痛みと腫れが増してきた。	40	521	7	100 ～ 299
2017	10	17～ 18	高さ1100mmの設備架台の上にあるヘリウムリーク装置真空ポンプフィルターエレメント交換作業を二人作業で行っていた。設備架台へ踏み台を使って昇り、二人でフィルターエレメント交換作業を行った後、上蓋を取り付ける為、作業員Aが被災者に床に置いてある上蓋を取ってくるよう指示した。被災者が設備架台から500mm下の踏み台に下りようとした際体勢を崩し、とっさに本体下ケースのふちを左手で強く掴み、内側のエッジ部分で左手を切創した。	29	419	8	1000 ～ 9999
2017	10	11～ 12	検査作業現場にて、廃棄物の分別を行っていた際、納品があり受取確認に向かう途中、疲労軽減用マットに躓き転倒した。転倒した際に左肘で着地したため、衝撃により、左肘関節脱臼骨折の怪我を負った。	57	379	2	100 ～ 299
2017	11	17～ 18	工場内において、終業チャイムが鳴った後で、タイムカード打刻の為に3階から2階へ移動した。その際、不注意にも階段で足を踏み外し、転倒してしまった。尾骨を強打し、仙骨骨挫傷した。	25	413	1	100 ～ 299
2017	11	2～3	エッチング投入室内で、製品が正常に流れているか確認するため、同室内を歩行（小走り）していたところ、足を滑らせ転倒したものである。	27	417	2	100 ～ 299
			ルームエアコン製造ライン最終作業にて、パネル（350mm、横120mm、奥行300mm、重さ500g）を段ボールから取り出し、シールを貼り、キッキングハンガーへ表向きに置く作業を、1日約1000台超				1000

2017	12	13~14	分行っていた。数ヶ月前から手首に違和感があるとの申し出があり、別の軽作業に変更するなどして様子を見ながら作業を行っていたが、当月作業中に激痛があり、様子を見たが痛みが引かず受診した。	59	999	99	~ 9999
2017	12	9~10	会社内チューブ工程にて、チューブ切断作業中、チューブを切断する機械の切断口に材料（チューブ）が詰まってしまった。材料が詰まった場合は、電源を切り、設置された工具で材料を取り除くことになっているが、電源を切らずに材料を左手で取り除こうとしたところ、右手がボタンに触れてしまい作動したため、左手の人差し指（1cm前後）を切断した。	25	169	8	30~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html